

全国で起こった
コロナによる災害医療状態
私達はどう備えるべきか

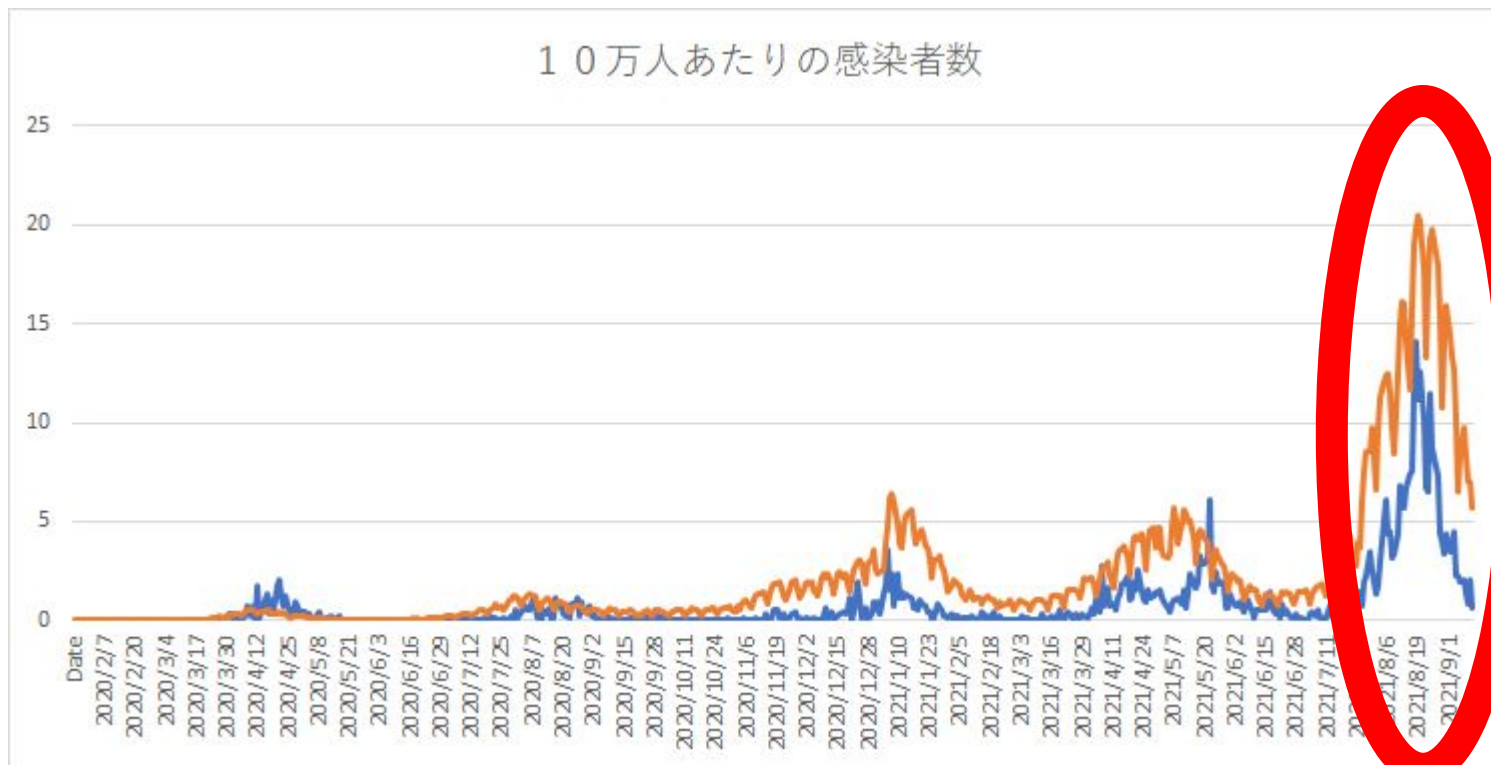
富山市まちなか診療所 三浦太郎

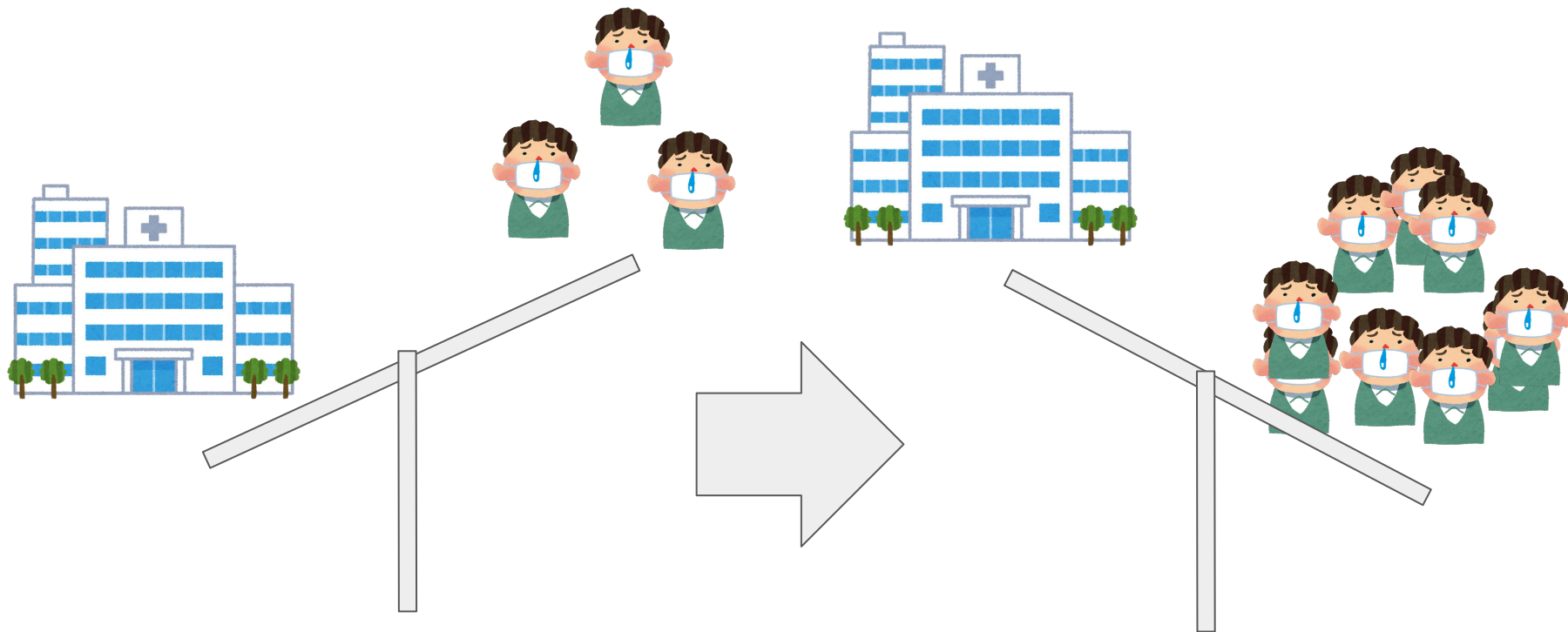
きっと 起こりうること(すでに起こっていること?)

〇〇クリニックかかりつけのAさんがコロナ陽性で
自宅待機orホテル待機 普段の内服薬が足りな
くなり、電話再診で薬を処方 薬局に調剤依頼

→各薬局で、コロナ陽性者への処方が出た際の
対応を考えておく必要がある(配達、指導 など)

病院に入りきれない患者さんが発生した





病院で治療すべき患者を選ばないと医療自身が立ち行かなくなってしまう

災害医療状態

あふれた患者は自宅へ..

重症度	飽和酸素度	臨床状態
軽 症	$\text{SpO}_2 \geq 96\%$	呼吸器症状なし 咳のみ息切れなし
中等症Ⅰ 呼吸不全なし	$93\% < \text{SpO}_2 < 96\%$	息切れ、肺炎所見
中等症Ⅱ 呼吸不全あり	$\text{SpO}_2 \leq 93\%$ 	酸素投与が必要
重 症		ICUに入室 or 人工呼吸器が必要



62%



30%



9%

富山で在宅療養した層

都市部で在宅で
診ざるを得なかった層

重たい人で用意された病床が埋まれば
自宅で過ごさざるを得ない現実

逼迫していなくても、自宅で療養する人もいる



子供の面倒をみる人がおらず、
自宅療養せざるを得ない など..

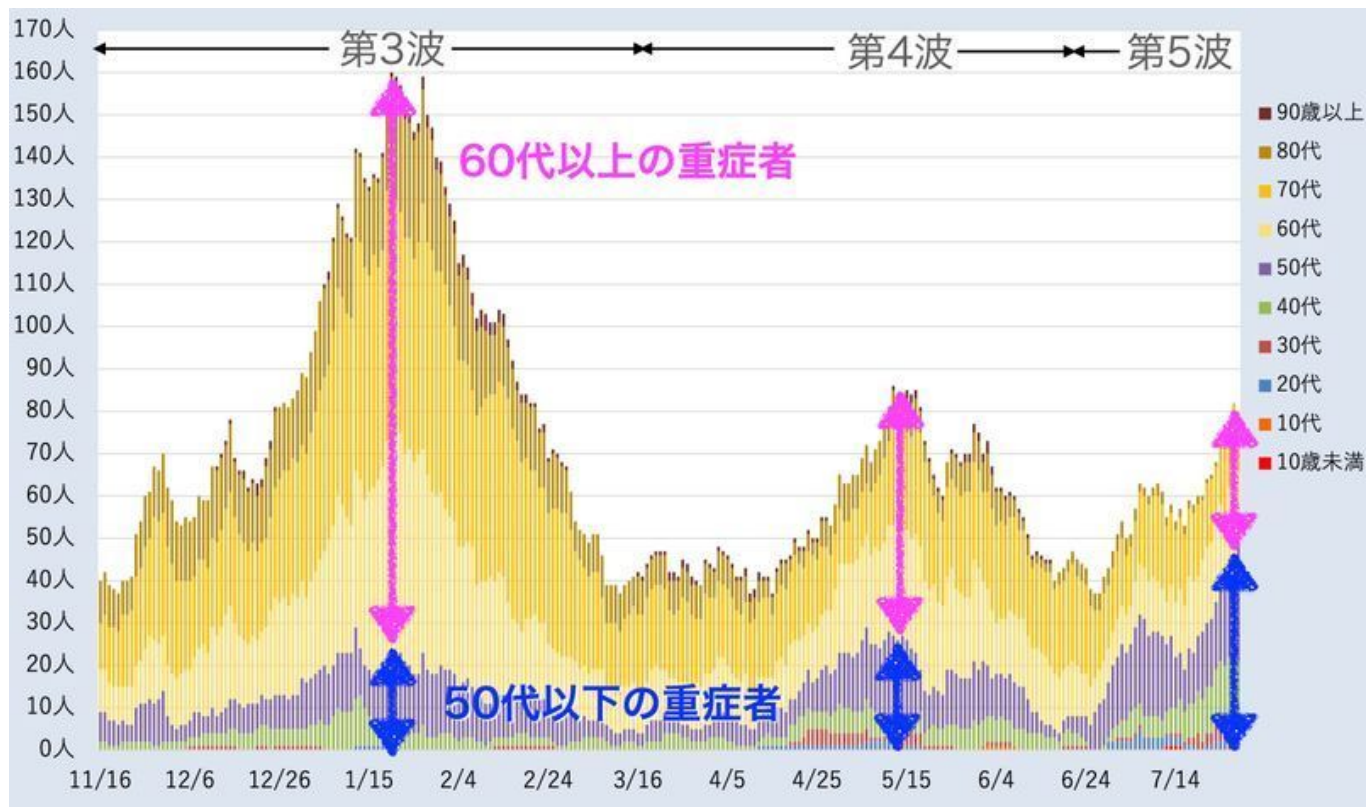
罹患後どうなるかはルーレット

悪くなり加算ポイント

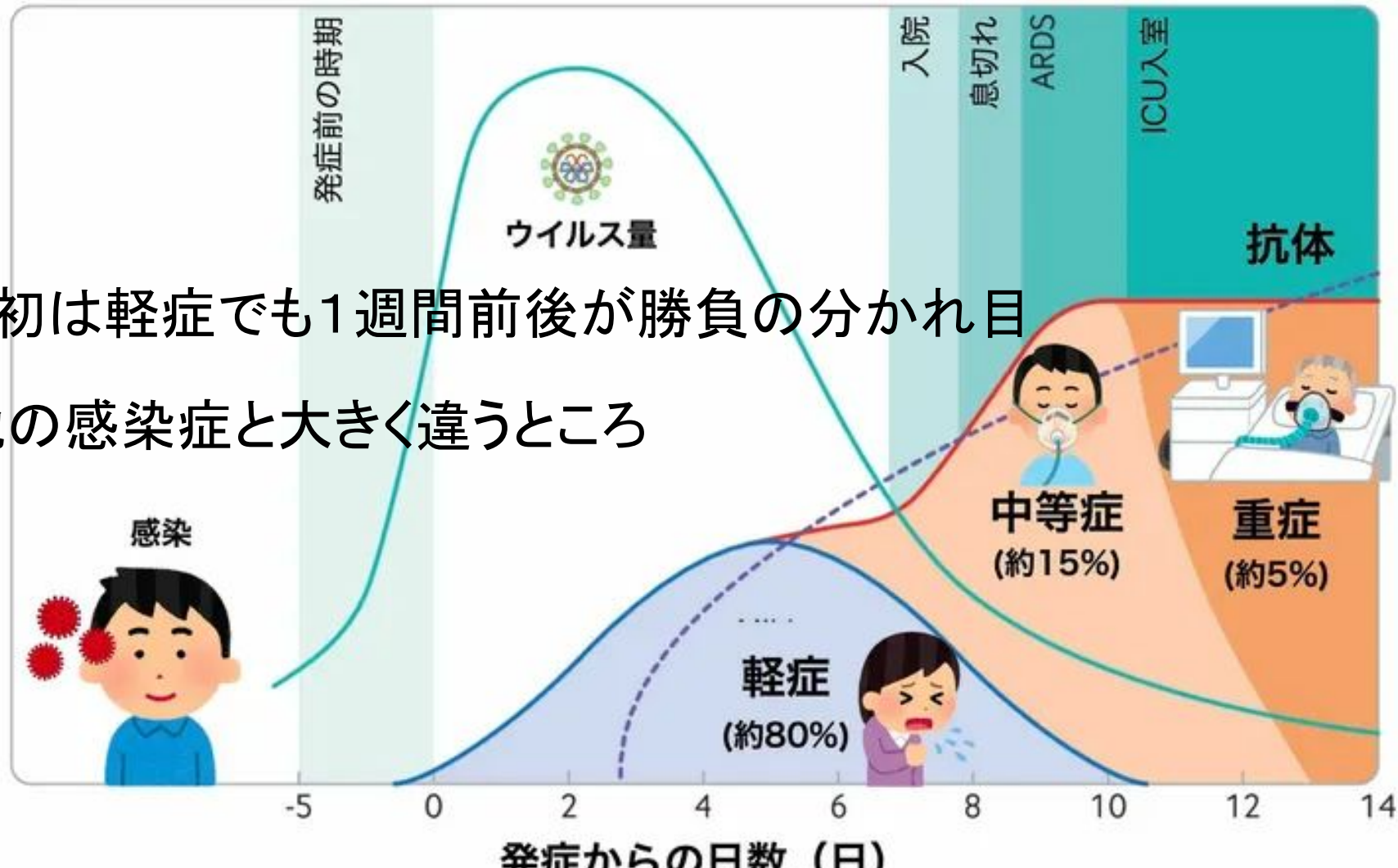
- ・年齢
- ・肥満
- ・基礎疾患
- ・ワクチンの有無



ワクチン接種した高齢者の重症者は大きく減った



最初は軽症でも1週間前後が勝負の分かれ目
他の感染症と大きく違うところ



重症度	飽和酸素度	臨床状態
軽 症	$\text{SpO}_2 \geq 96\%$	呼吸器症状なし 咳のみ息切れなし
中等症Ⅰ 呼吸不全なし	$93\% < \text{SpO}_2 < 96\%$	息切れ、肺炎所見
中等症Ⅱ 呼吸不全あり	$\text{SpO}_2 \leq 93\%$ 	酸素投与が必要
重 症		ICU 入室 or 人工呼吸器が必要



62%



30%



9%

数日以内に
悪化することがある

急変のリスクあり、中等症以上は本来であれば在宅で診てはいけない”患者

他県での取り組みの状況

自治体から訪問看護師に委託 → 訪問看護師が健康観察 必要に応じて訪問

自治体から医師会などに委託 → 手上げた診療所へ自治体から診療依頼
往診or電話診察をした診療所から、処方箋・酸素指示箋・訪問看護指示

自宅に感染者が溢れる状況では、保健所も機能が麻痺しているため、様々なルートから依頼が来るとと思われる

コロナ自宅診療のキモ

自分が感染しない、自分から広げない

- ・電話で可能な限り診療、投薬 どうしても訪問しなければならない場合
- ・事前に換気を要請 マスク着用を依頼 SpO2いくつか 動いたときに落ちないか
- ・滞在時間はできる限り15分以内
- ・必要最低限のケア(ケアの引き算)

0410対応

#Cov自宅

処方箋が医療機関からFAXなどで届けられる

ポストイン → 電話などで服薬指導

診断当日は診療報酬が発生、その後は公費負担(10日目まで?)

コロナ関連以外の薬は診療報酬が発生

処方しうる薬

デカドロン 6mg などのステロイド

カロナール

補液（滞在時間を考えると200mlが限界か）

医師によっては鎮咳薬、抗生剤も処方

装備・お作法

高山先生・藤田先生 動画供覧

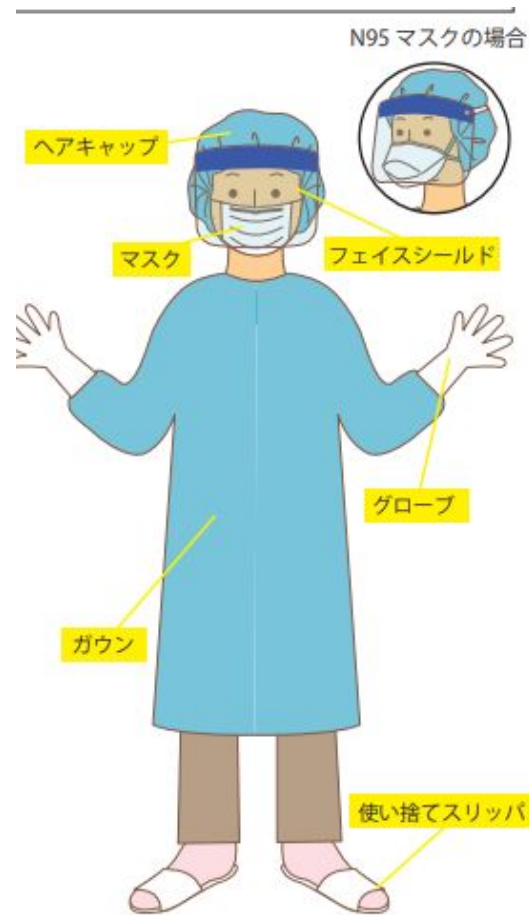
<https://youtu.be/H4wiDekeayo>

- ・その日の最後に or 別ラインで
- ・基本的には物を持っていかない 出さない
- ・家の中にグリーンゾーンを作る（玄関？）
- ・訪問後のフォローアップ



保健所から自宅に届けられている、はず

現場で付けて
現場で捨ててくる





日本訪問看護財団「感染防護具支援プロジェクト」

在庫残り
2,281箱
2021年4月30日現在

感染防護具を無料配布

日本訪問看護財団は、感染防護具を**無料配布**しています。

感染の蔓延を防止するために、在宅ケアチームで有効にお使いいただくことを願っています。

(本事業は、日本財団様・メットライフ生命保険様からのご寄付です)

■お申込み対象は次の事業所です

- ☐ 訪問看護ステーション ☐ 訪問介護事業所 ☐ 居宅介護支援事業所
- ☐ 看護多機能型居宅介護事業所 ☐ 小規模多機能型居宅介護事業所

■次のような状態の療養者やそのご家族がいる場合はお申込みいただけます

新型コロナウイルス感染者（疑いを含む）

☐ 新型コロナウイルス感染者（自宅療養中・宿泊療養中）

おそらく起こりうる困ること

- ・その地域で対応可能な薬局・訪問看護ステーションがわからない
- ・酸素濃縮器を持っている酸素業者がわからない
- ・特定薬品の需要が急に上がるため、薬の在庫が無くなる可能性がある

現在50代以下への接種が進んでいる

おそらく今後は無症状・軽症の患者の割合が増え

社会に出てこられるくらい元気なので、感染者の総数は増えるだろう(私見)

感染者総数が増えれば、割合的には少ない中等症・重症も増え(ワクチン非接種者中心)、第6波・第7波となってくると考えられる

来てほしくない
でも来るかもしれない未来に
ともに備えましょう